



みる・よむ・きく・つくる 竹富島の島ことば絵本

「星砂の話」展

2023.12.26_日 - 2024.01.26_日

会場：竹富島 旧与那国家住宅



みる・よむ・きく・つくる 竹富島の島ことば絵本「星砂の話」展

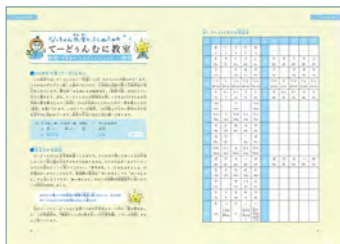
竹富島のことばや文化を継承保存し、普及するという目的でひつじ書房より出版した多言語表記の昔話絵本「みる・よむ・きく 南の島ことば絵本 -竹富島- 星砂の話」の刊行を記念して、絵本の原画展、トークイベント、ワークショップを開催します。

展示内容 展示会場では、絵本の原画やことばの解説ポスターのほか、さまざまな作品やグッズを展示します。

1 4冊の絵本の原画展示 (内盛スミ氏の語りを絵画化) 絵: 山本史 (京都市立芸術大学)



2 言語学者による島ことばの解説ポスター

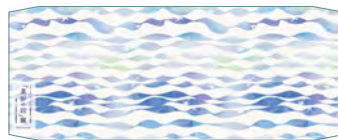


解説: 中川奈津子 (国立国語研究所)

3 絵本「星砂の話」グッズ配布



ポストカード



文庫用ブックカバー



本のしおり

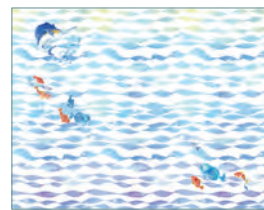
4 スペシャルコラボレーション



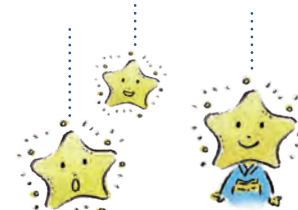
水野暁子 (写真家)

写真家・水野暁子氏とのコラボレーション企画、絵本の物語からインスピレーションを受けて撮影した写真作品を2点展示します。

5 参加型作品 2024.01.08 (月) 開催のワークショップで制作



みんなで描く大きな絵画



星のモビール

会期中の関連イベント 展示期間中に絵本の読み聞かせ、トークイベント、ワークショップを行います。

参加者募集中! 誰でも当日自由にご参加いただけます。(参加費無料)

絵本「星砂の話」の世界を体験しよう!
読み聞かせ、トーク、ワークショップイベント
日時: 2024.01.08 (月) 13:00 - 16:00
会場: 旧与那国家住宅

島ことばの話者による絵本の読み聞かせ

竹富島のことばで絵本「星砂の話」を朗読します。朗読とともに絵本のアニメーションも同時に上映。絵本の中のキャラクターたちが動き出します。耳で聞き、目でも楽しみながら、絵本の物語をお楽しみください。

【言語復興の港とは?】

消滅危機言語の継承保存をしながらその仕組み作りについて考えるプロジェクトです。地域言語の研究者、作家、デザイナーなどの人的リソース、ことばを楽しみながら学べる地域言語コンテンツ、これらの制作と利用の経験を地域言語コミュニティと共有し、地域言語コミュニティが自分たちで地域言語を残すことができるような仕組みを作ることを目指しています。



言語復興の港
plrminato.wixsite.com/webminato

【旧与那国家住宅】

入館日: 台風時・島の祭事
行事を除く日
開館時間: 09:00 - 17:00
入館料: 大人300円
中学生以下無料



主催: 国立国語研究所「開かれた人間文化研究を目指した社会共創コミュニケーションの構築」 共催: 一般財団法人 竹富島地域自然資産財団 後援: 地縁団体法人 竹富公民館、竹富町立竹富小中学校
本展覧会は以下の研究費を使用して行われます。
2023 年度オーキッドバウンティ (主催: ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社)、DNP 文化振興財団 学術研究助成「絵と共に語る言葉の未来 多言語表記民話絵本のブックデザイン」、人間文化研究機構「開かれた人間文化研究を目指した社会共創コミュニケーションの構築」、科研費 21K18376